

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・よく学び、よく考える自主性のある中学生 ・心身ともに健康で礼儀正しい中学生 ・規律と責任を重んじ、よく働く中学生 	自発 礼儀 責任
----------------	---	----------------

国が示す総合的な学習の時間の目標	
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	

学校の総合的な学習の時間の目標	
1「共生」を大テーマとして、横断的・総合的・探求的な学習に取り組む。 2実感できる体験的活動を通して、自ら学び自ら考え主体的に判断する姿勢を養う。 3情報収集のやり方や発表のしかたを通して、学び方やものの考え方を身につけさせる。 4各教科・道徳・特別活動を通して、問題解決や探求活動に主体的・創造的・協働的に取り組む。 5チャレンジ・ザ・ドリームや進路学習を通して、自己の生き方を考えることができるようにする。	

育てようとする資質や能力及び態度			
知識及び技能			
第1学年	第2学年	第3学年	第3学年
・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	
思考力、判断力、表現力等			
第1学年	第2学年	第3学年	第3学年
・自分たちを取り巻く社会に目を向けて、課題を見出している。	・自分たちを取り巻く社会に目を向け、活動の糸や目的を明確にして課題を見出している。	・自分たちを取り巻く社会に目を向け、活動の糸や目的を明確にし解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てている。	
学びに向かう力、人間性等			
第1学年	第2学年	第3学年	第3学年
・自分の意志で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。	

内容	学習対象	学習事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生から学ぶ ・健康な体づくり ・江戸川区の情報を知る ・職業しらべ 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習と関連した環境との共生について ・留学生の国の文化や食事、相互理解について ・江戸川区の交通や地理について ・身近な人の職業調べについて
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業 ・農村の暮らしと文化 ・健康な体づくり ・江戸川区の産業と働く人々 ・職場体験を通して考えたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習と関連した環境との共生について ・林間学校と関連した自然との調和について ・江戸川区の産業と区民の生活について ・職場体験の事前事後学習について
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史的な文化財と日本の伝統文化 ・健康な体づくり ・江戸川区の伝統と文化 ・進路先の調査と実現への課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習と関連した日本の伝統文化について ・健康な心身をつくるための留意点について ・江戸川区の伝統や文化について ・進路先情報の収集と生活の見直しについて

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で校外学習活動と関連した学習活動を行う ・全学年で職業や進路に関連した学習活動を展開する ・全学年で異文化との交流や相互理解を中心とした学習活動を展開 ・健康に関する学習は全学年共通で行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導の工夫 ・諸感覚を駆使する体験活動の重視 ・協働的な学習活動の充実 ・学校図書館の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任外の教職員による支援体制の確立 ・パソコン室を使った情報の集積と活用 ・過去の卒業生が製作した作品を参考にしたイメージの共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを使用した評価の充実 ・個人内評価の重視 ・学期末や学年末における指導計画の評価の